

令和6年度森林環境税活用事業の予算案

大区分	小区分	No.	継続 新規 拡充	事業名	担当課	R5予算額 (千円)	R6予算要 求額 (千円)	本年度 との比較	事業内容	新規事業及び増減の主な理由	
この 森で 人づ くり 事業	将来を 担う子 どもた ちなど への森 林環 境学 習	1	継続 (統合)	山の学習支援事業費補助金	林業環境政策課	29,311	38,661	↗	【山の学習支援事業】 総合的な学習の時間等において、年間を通して森林環境学習を実施する学校等に対し補助を行う。 また、市町村や民間団体等が実施する宿泊を伴う自然体験活動を支援する。 【山の一日先生派遣事業】 単発的な授業等において「山の一日先生」として森林環境学習の講師を行う個人・団体等に対し補助を行う。 【木育指導員養成事業】 木育指導員として活動することのできる人材を養成する。	(増)・自然体験型学習事業(生涯学習課)の統合 ・山の学習支援事業の活用を要望する学校の増加(84校→92校)	
		2	継続	森林環境学習等推進事業委託料	林業環境政策課	8,651	8,103	↘	幅広く県民からの参加を募る森林保全ボランティア活動の支援や、ボランティア活動の募集等を行う公式HP「森・ヒト・こころ応援ネット」の保守管理等を行う。	(減)R5において公式HPの改修(スマートフォン対応のレイアウト作成)を実施し、R6については保守管理のみとなったため	
		3	継続	環境学習推進事業	生涯学習課	6,403	755	↘	【森林活用指導員育成研修】 学校林をはじめとした地域の森林等、豊かな自然環境を活用し、保・幼の園児、小・中・高の児童生徒を対象に体験を中心とした森林環境学習を推進することのできる人材を育成する。	(減)自然体験型学習事業を林業環境政策課が所管する山の学習支援事業に移管 (増)本事業の研修修了者を対象としたフォローアップ研修の実施を計画しており、研修開催にかかる講師の報酬費や打合せに係る旅費を増額	
		4	継続	青少年教育施設振興事業	生涯学習課	249	153	→	山道を歩きながら植林された木々の説明を聞いたり、山の斜面での間伐など、林業体験をすることによって、自然と人との営みに対する感受性、木や森に対する関心を高める。	(減)実施内容の変更によるバス利用回数の減(2回→1回)	
		5	拡充	高校生森林環境理解事業	高等学校課	1,315	2,128	↗	高校生に対し森林環境学習を行い、森林環境の大切さを学び、保全していくことの重要性を理解してもらう取組を支援する。	(増)実施内容の変更による増額 ・学校演習林を活用し、森林環境の保全と森林育成を行う(四万十高校) ・地元の森林資源を活用した加工品を配布する(窪川高校) ・教育の森を活用した体験活動(嶺北高校)	
	小計						45,929 (24.5%)	49,800 (24.5%)			
	県民の 森や山 に対する 主体的な 活動	6	継続	こうち山の日推進事業費補助金	林業環境政策課	7,872	9,043	↗	「こうち山の日(11月11日)」を中心に、県民が主体となって行う森林保全活動を支援する。	(増)・活用団体数の増(21団体→25団体) ・こうち山の日と森林環境税をPRするのぼり旗の新規作成	
		7	継続	森林・山村多面的機能発揮対策支援事業費補助金	林業環境政策課	5,583	4,806	↘	適正な森林管理を促進するため、地域住民等が協力して実施する里山林の保全管理や森林資源を利用する取組を支援する。	(減)活用団体数の減少(38団体→33団体)	
		8	継続	林業大学校(短期課程)研修業務等委託料	森づくり推進課	650	647	→	林業大学校において、森林保全ボランティア活動を行う方の知識や技術の向上を図る「短期課程」の研修を実施する。		
	小計						14,105 (7.5%)	14,496 (7.1%)			
	森林環 境に対 する意 識向上 のため の普及 啓発・広 報	9	継続	森林環境情報誌作成等委託料	林業環境政策課	9,294	9,212	→	幅広い県民を対象に、森林の果たす役割や森林保全の必要性などを広報する。		
		10	継続	森林環境学習フェア等開催委託料	林業環境政策課	12,634	12,634	→	森林環境学習に関するフェアを開催し、広く県民に森林環境保全の重要性への理解と、木材利用や森林への関心を深めていただくための情報発信等を行う。		
		11	継続	座談会等開催委託料	林業環境政策課	3,232	3,230	→	第5期(R5～R9)を通じ、森林環境税の意義や活用事業について、県民に直接説明するとともに、事業の要望や改善等に反映させるため、意見交換会を実施する。		
		12	継続	緑化促進事業費補助金	林業環境政策課	8,000	15,000	↗	企業、団体等が実施する、幅広い県民に利用される公園や公共施設等を郷土樹種を用いて緑化する事業に対し、補助を行う。	(増)1箇所あたり事業費の増	
13		拡充	県立南喜ヶ峰森林公園展示林整備工事	林業環境政策課	2,200	5,600	↗	県民が森林環境に親しむ機会を創出するため、県立南喜ヶ峰森林公園など県関連施設の機能拡充を図る。	(増)工事費の増額(Wi-fi設備設置工事終了廃止→展示林整備工事の実施)		
14		継続	運営委員会等開催費	林業環境政策課	1,380	1,399	→	森林環境保全基金の運営を適正に行うため、基金運営委員会を開催する。			
小計						36,740 (19.6%)	47,075 (23.2%)				
大区分 計						96,774 (51.6%)	111,371 (54.9%)				
森林の 保全に 繋がる 木材利 用	15	継続	木の香るまちづくり推進事業費補助金	木材産業振興課	30,286	30,316	→	木材の利用が森林環境の保全に繋がることを理解してもらえるように、公共施設の木質化等の取組を支援する。	(増)森林環境税ロゴマークのシール印刷代の追加		
	16	継続	環境不動産評価事業委託料	木材産業振興課	9,820	6,010	↘	環境面から見て価値の高い木造建築物を環境不動産として評価し、優遇措置を取ることで、木造率が低い非住宅・中高層建築物の木造化を促進する。	(減)確認検査数36→18件、パンフレット作成委託料の終了廃止 (増)環境不動産認定のためのアドバイザー派遣及び勉強会の開催、パンフレットの増刷を追加		
	小計						40,106 (21.4%)	36,326 (17.9%)			
	豊かな森 づくり 事業	17-1	継続	指定管理鳥獣捕獲等事業委託料	鳥獣対策課	6,149	6,509	↗	高標高域の国有林内鳥獣保護区でわな猟によるシカ捕獲を実施する。	(増)人件費単価の増加に伴う事務費の増加	
		17-2	新規	指定管理鳥獣捕獲等事業計画策定調査委託料	鳥獣対策課	0	5,151	↑	指定管理鳥獣捕獲等事業に関する「指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画」の策定及びそれに必要な調査の実施並びに捕獲情報の収集や事業評価を行う。 また、科学的根拠に基づく計画的で順応的なニホンジカ管理に資する、最新のシカの個体数を推定するための生息状況調査を実施する。	指定管理鳥獣捕獲等事業の対象地域である「高岡区域」及び「幅多区域」のシカ生息密度を調査し、実施計画策定のための検討会を開催する。 県内全域のシカ生息密度調査及びデータ集計を行い、令和7年度以降のシカ捕獲事業の実施予定地や実施内容の検討に活用する。	
		17-3	継続	第二種特定鳥獣捕獲推進事業費補助金	鳥獣対策課	10,375	9,420	↘	市町村が第二種特定鳥獣(ニホンジカ)の捕獲に取り組む狩猟者(新規狩猟者を含む)に配布(貸与)するための「くくりわな」の購入を支援する。	(減)くくりわなの配布単価の減	
17-4		継続	森林環境保全対策シカ捕獲事業委託料	鳥獣対策課	21,000	21,000	→	狩猟によるシカの捕獲実績が上位である市町村においてシカによる森林及び自然植生被害を軽減するため、狩猟期のシカ捕獲に対して捕獲報酬金を支出する。			
18	継続	希少野生植物食害防止対策委託料	自然共生課	13,070	13,156	→	ニホンジカによる希少野生植物の食害を防止するため、現況調査や防護ネットの設置を実施する。				
小計						50,594 (27.0%)	55,236 (27.2%)				
大区分 計						90,700 (48.4%)	91,562 (45.1%)				
合計						187,474	202,933				

※小計、合計欄の下段は構成比

※本年度との比較は、100千円以上の増減を矢印で表示